

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」学園だより

とう oun
稲雲

令和5年11月15日発行

令和5年度 第10号

発行者：校長 星 彰



○松明あかし

9月9日（土）の茅刈りから始まった松明作りも、9月30日（土）の竹切り、茅運び作業、10月28日（土）の松明製作、11月10日（金）の出発式を経て、11月11日（土）に無事に翠ヶ丘公園五老山で本番を迎えることができました。この日を迎えるまでに、9年生を中心に、松明作り協力会や保護者の皆様、日本工営の皆様、渡辺建設の皆様、イナダの皆様など様々な方から多大な協力をいただきながら準備を進めてきました。

11月10日（金）には、全児童生徒、協力会の方々、保護者の方々が見守るなか盛大に出発式が行われました。出発式では応援団の気合いの入った応援を受け、当日に向けて気持ちを高めることができました。

五老山では、これまで苦勞して作成してきた松明が赤々と勇壯に燃え上がる様子を目の当たりにした生徒達の満足げな表情がとても印象的でした。



○秋華祭（文化祭）

10月21日（月）に、「秋華祭（文化祭）」を開催しました。今年の秋華祭のテーマは「Smile again 学園を照らす最高の笑顔」です。このテーマには、「みんなが全力で楽しめて、笑顔の絶えない最高の秋華祭にしたい」という願いがこもっています。この日を迎えるまでに、実行委員会をはじめ、児童生徒みんなが準備に取り組みました。

秋華祭の最後には、テーマの通り「学園を照らす最高の笑顔」を見せてくれました。「自立」や「自主性」を感じることができた秋華祭。前期課程、後期課程それぞれの子どもたちの成長を見ることができました。



○音楽部全国大会出場

11月5日（日）に郡山市文化センターで開催された、日本学校合奏コンクール・ソロ&アンサンブル全国大会が行われました。稲田学園からは「管楽器アンサンブル」と「打楽器5重奏」の2部門に出場しました。審査の結果「管楽器アンサンブル」は銀賞、「打楽器5重奏」は銅賞を受賞しました。翌日、校長室に来室した生徒からは、「全国大会で演奏できたことと、賞をいただけたことがうれしかったです。来年も全国大会出場を目指します。」との報告がありました。来年も期待できそうです。



「写真は校内での演奏風景です」

★雑感 協同的な学び

11月9日（木）に東京から講師の先生をお招きして、授業研究会を行いました。これまで授業参観においていただいた皆様には、すでにご覧いただいていると思いますが、稲田学園では基本的に、1～2年生はペアで、3年生以上は4人グループで学習に取り組んでいます。一昔前のグループ学習との違いは「話し合う」ことをメインにしないことです。一人一人が深く考えるために「学び合う」ことを基本に授業を進めています。児童生徒の学力向上のために、これからも授業研究を進めていきます。